

三刀屋斎場火葬炉更新工事に係る火葬炉整備事業者選定公募型プロポーザル  
審査の結果について  
(令和6年8月)

三刀屋斎場火葬炉更新工事に係る火葬炉整備事業者の選定については、公募型プロポーザル方式を採用することとし、令和6年5月20日付けで公告・募集開始を行ったところ、1者から参加表明がありました。審査委員会による審査の結果、次のとおりとなったので公表します。

1 審査委員会

三刀屋斎場火葬炉更新工事に係る火葬炉整備事業者選定公募型プロポーザル審査委員会設置要綱に基づき、雲南市・飯南町事務組合副管理者、同事務局長、雲南市、飯南町火葬場担当部課長の5名により審査委員会を設置。

2 審査対象事業者名(1者)

株式会社宮本工業所

3 審査経過

本プロポーザルの実施要領では、参加者が1者でも審査委員会にて受注候補者の適否を判断すること、また、その判断は、審査委員会による審査・採点で6割以上の得点が必要であるとししました。このことから、技術提案のあった書類確認が行われ、これを踏まえたプレゼンテーション内容への質疑等を経て、審査・採点が行われました。

\* 審査委員会第1回会議 令和6年7月5日

\* 審査委員会第2回会議 令和6年8月9日(最終審査、採点、受注候補者選定日)

4 審査結果

採点表は、審査基準に基づき、会社の経営状況や工事の運営体制、火葬炉設備の技術提案、環境保全対策、維持管理費用の多寡、参考見積額並びにプレゼンテーションにおける説明的的確さ、質疑対応の明確さなど、全部で23項目を設定しました。こ

れにより、審査委員 1 名当たり 200 点、5 名分合計 1,000 点満点で採点された結果、5 名の合計得点は 958 点となり、6 割以上の得点となったことから、株式会社宮本工業所が受注候補者として選定されました。

## 5 選定理由・講評

当該事業者は、火葬炉更新工事に必要な専門知識と技術を有し、全国での実績が多数あること、また、三刀屋斎場全体の設備状況や火葬炉を熟知した提案がなされており、確実な火葬炉稼働が期待できることから、三刀屋斎場火葬炉更新工事の受注候補者として適当であると、審査委員会において判断されました。